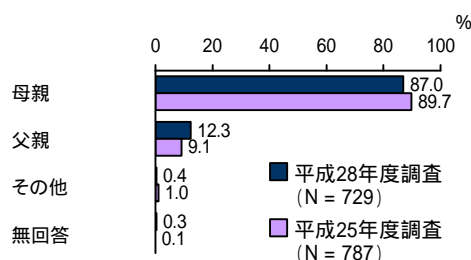


小学生調査の調査結果

問1 回答される方は、対象のお子さんからみてどなたですか（1つに ）。

「母親」の割合が 87.0%、「父親」の割合が 12.3%となっています。

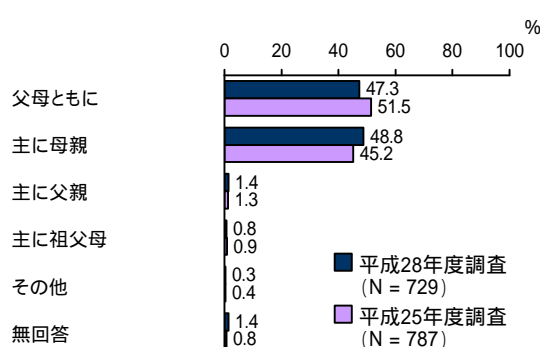
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 対象のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしているのは、お子さんからみてどなたですか（1つに ）。

「主に母親」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が 47.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

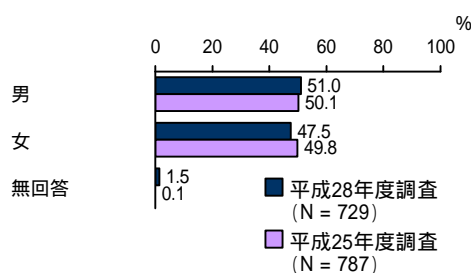


問3 対象のお子さんについて性別、学年をお答えください（1つに ）。

(1)性別

「男」の割合が 51.0%、「女」の割合が 47.5%となっています。

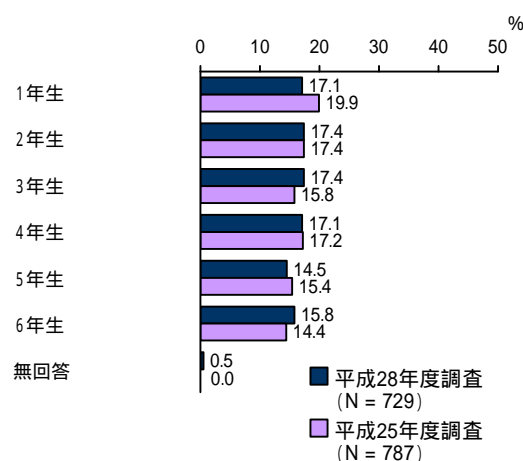
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2)学年

「2年生」、「3年生」の割合が 17.4%と最も高く、次いで、「1年生」、「4年生」の割合が 17.1%となっています。

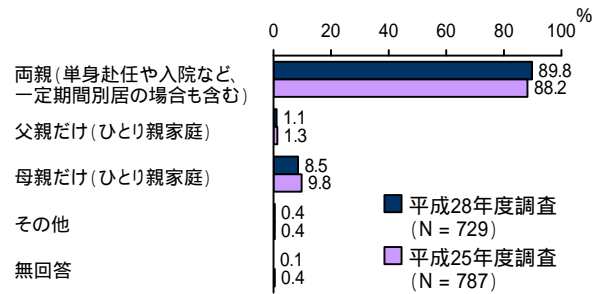
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問4 対象のお子さんの保護者はどなたですか（1つに ）

「両親（単身赴任や入院など、一定期間別居の場合も含む）」の割合が 89.8%と最も高くなっています。

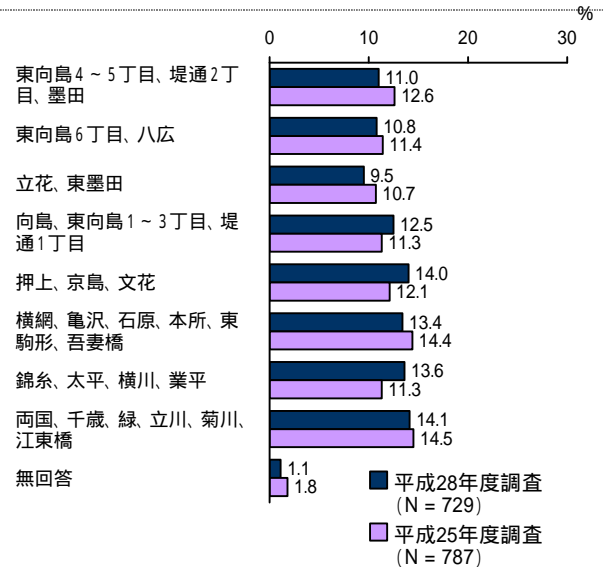
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 お住まいの住所をご記入ください。

「両国、千歳、緑、立川、菊川、江東橋」の割合が 14.1%と最も高く、次いで「押上、京島、文花」の割合が 14.0%、「錦糸、太平、横川、業平」の割合が 13.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

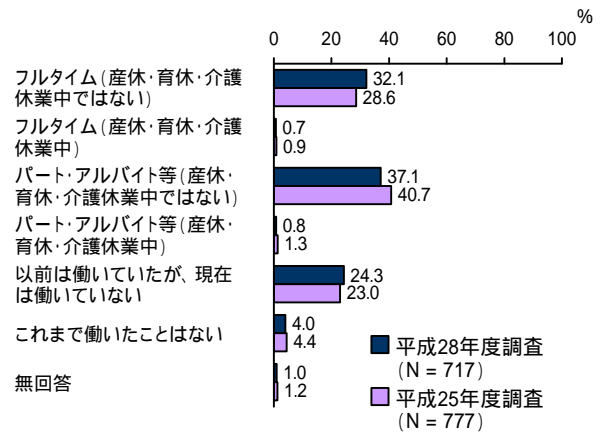


問6 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

(1) 母親（いずれか1つに ）

「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「フルタイム（産休・育休・介護休業中ではない）」の割合が 32.1%、「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が 24.3%となっています。

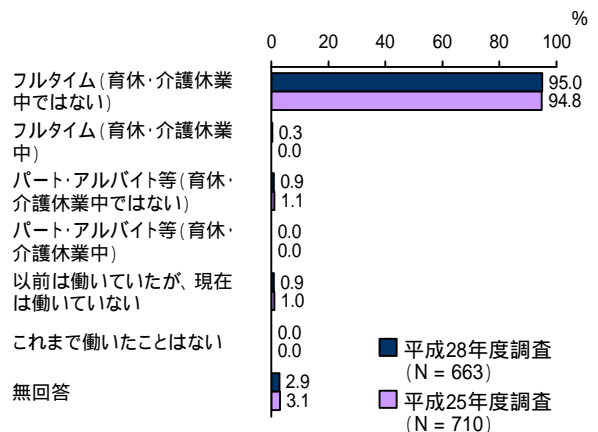
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親（いずれか1つに ）

「フルタイム（育休・介護休業中ではない）」の割合が 95.0%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



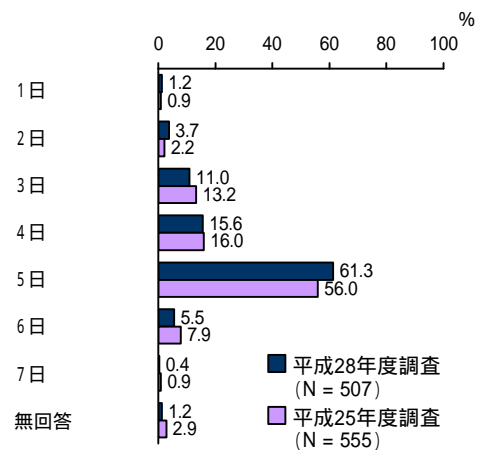
問7 日数や就労時間をお答えください。

(1) 母親

就労日数

「5日」の割合が61.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が15.6%、「3日」の割合が11.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。

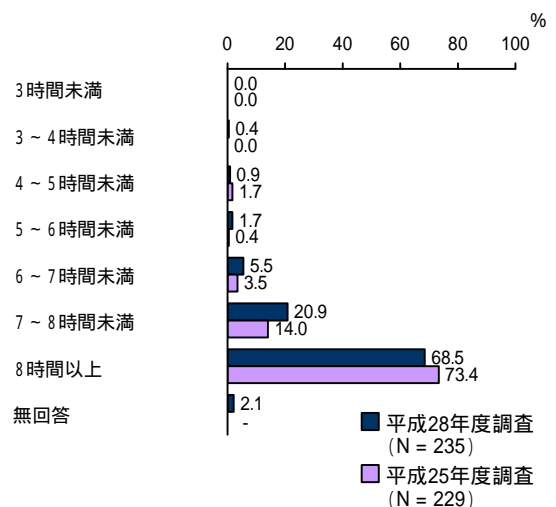


平均就労時間

フルタイム

「8時間以上」の割合が68.5%と最も高く、次いで「7～8時間未満」の割合が20.9%、「6～7時間未満」の割合が5.5%となっています。

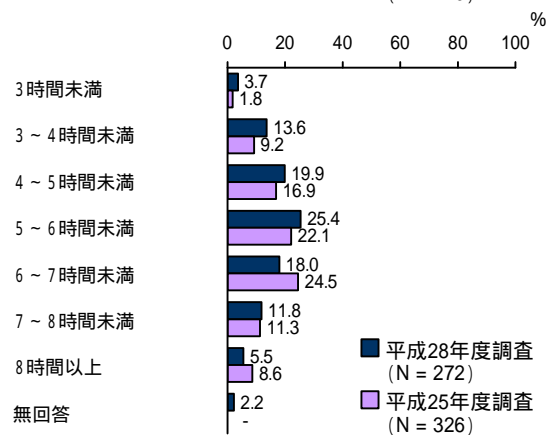
平成25年度調査と比較すると、「7～8時間未満」の割合が増加しています。



パート・アルバイト

「5～6時間未満」の割合が25.4%と最も高く、次いで「4～5時間未満」の割合が19.9%、「6～7時間未満」の割合が18.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「6～7時間未満」の割合が減少しています。

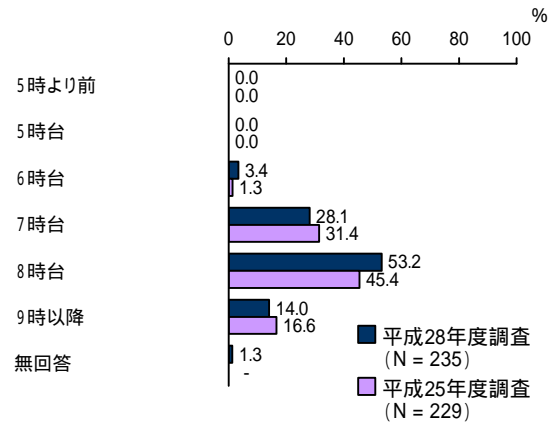


家を出る時刻

フルタイム

「8時台」の割合が53.2%と最も高く、次いで「7時台」の割合が28.1%、「9時以降」の割合が14.0%となっています。

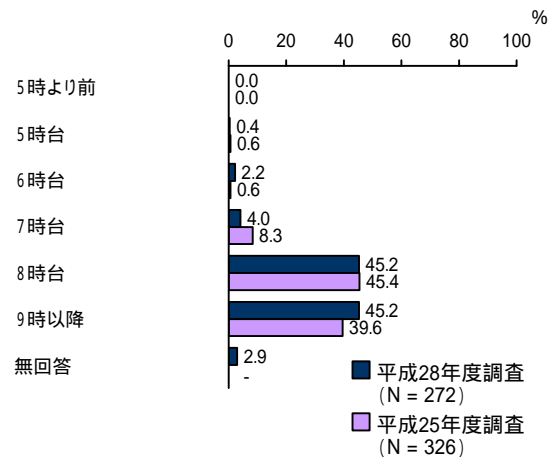
平成25年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。



パート・アルバイト

「8時台」「9時以降」の割合が45.2%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、「9時以降」の割合が増加しています。

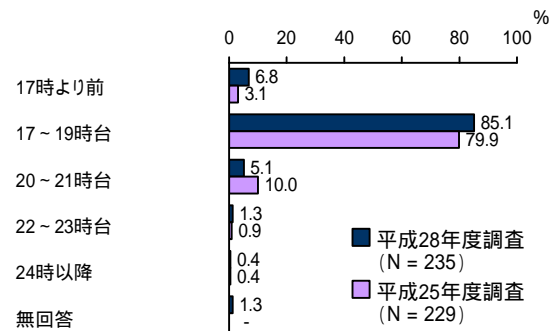


帰宅時刻

フルタイム

「17～19時台」の割合が85.1%と最も高くなっています。

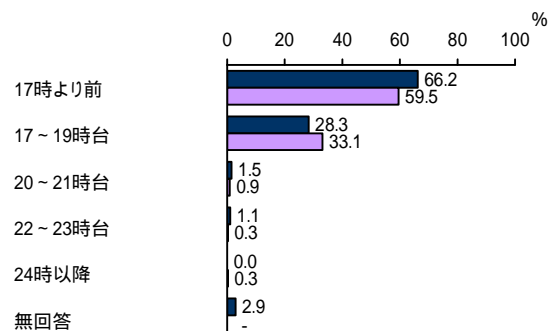
平成25年度調査と比較すると、「17～19時台」の割合が増加しています。



パート・アルバイト

「17時より前」の割合が66.2%と最も高く、次いで「17～19時台」の割合が28.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「17時より前」の割合が増加しています。

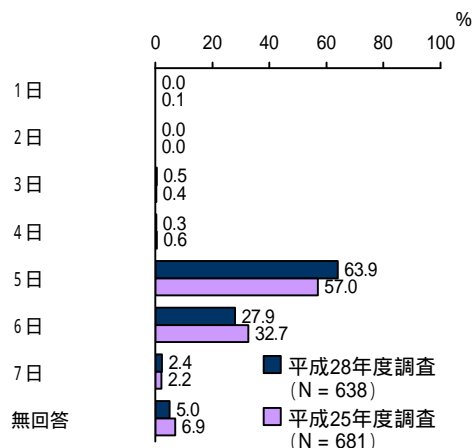


(2) 父親

就労日数

「5日」の割合が63.9%と最も高く、次いで「6日」の割合が27.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。



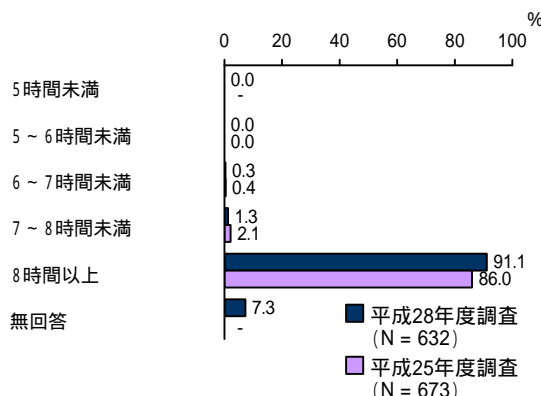
平均就労時間

フルタイム

「8時間以上」の割合が91.1%と最も高くなっています。

パート・アルバイト (N=6)

「8時間以上」が3件となっています。



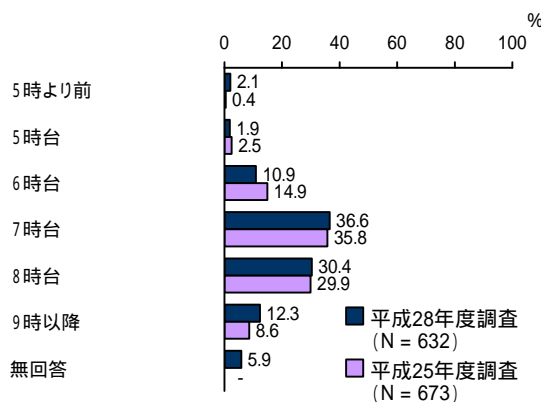
家を出る時刻

フルタイム

「7時台」の割合が36.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が30.4%、「9時以降」の割合が12.3%となっています。

パート・アルバイト (N=6)

「9時以降」が3件となっています。

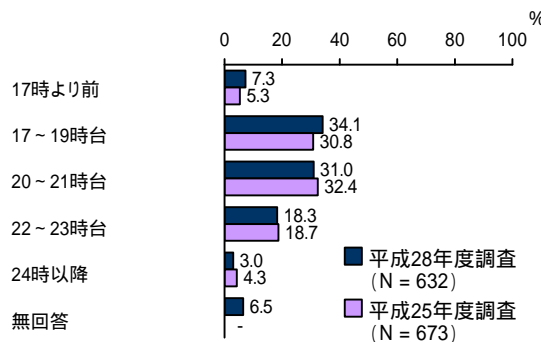


帰宅時刻

「17~19時台」の割合が34.1%と最も高く、次いで「20~21時台」の割合が31.0%、「22~23時台」の割合が18.3%となっています。

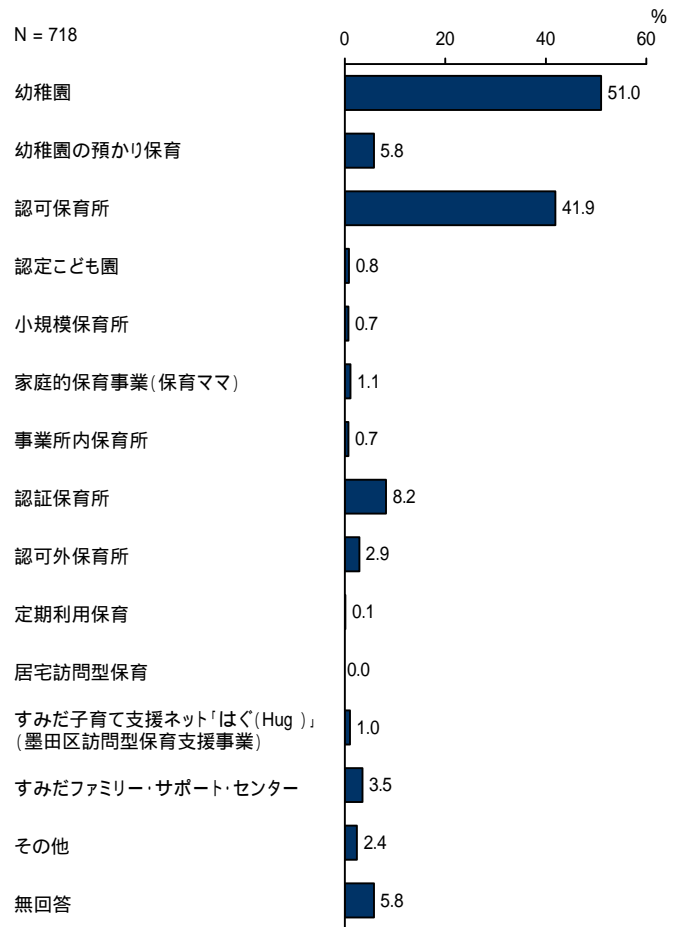
パート・アルバイト (N=6)

「17時より前」が4件となっています。



問8 対象のお子さんは、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していましたか（あてはまるものすべてに ）

「幼稚園」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 41.9%、「認証保育所」の割合が 8.2%となっています。

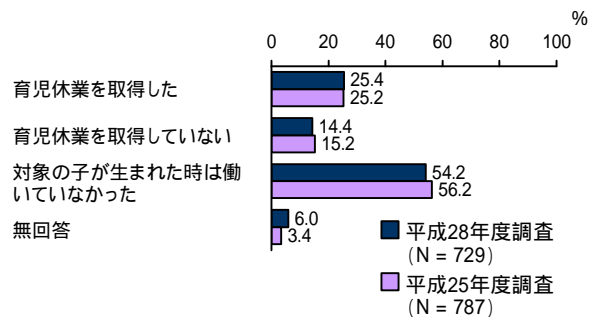


問9 対象のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

(1) 母親 (いずれか1つに)

「対象の子が生まれた時は働いていなかった」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「育児休業を取得した」の割合が 25.4%、「育児休業を取得していない」の割合が 14.4%となっています。

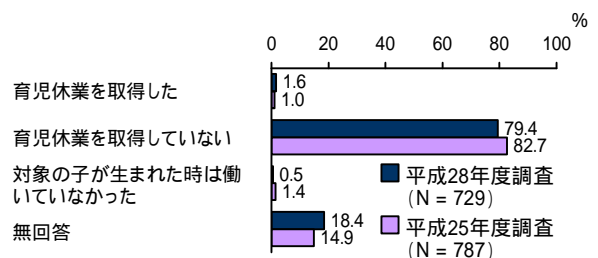
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親 (いずれか1つに)

「育児休業を取得していない」の割合が 79.4%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

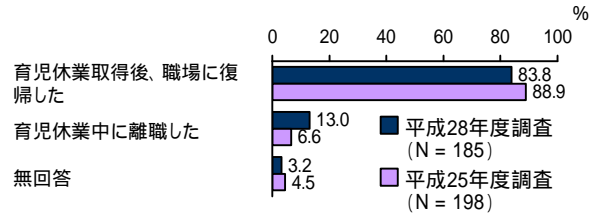


問 10 休業取得後の職場についてお答えください。

(1) 母親 (いずれか1つに)

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 83.8%、「育児休業中に離職した」の割合が 13.0%となっています。

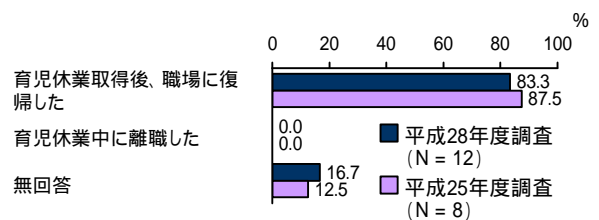
平成 25 年度調査と比較すると、「育児休業中に離職した」の割合が増加し、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が減少しています。



(2) 父親 (いずれか1つに)

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 83.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

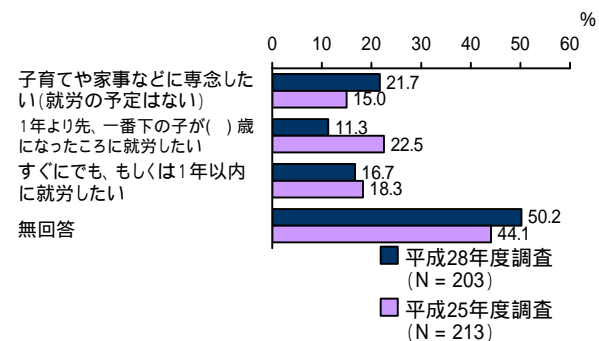


問 11 就労したいという希望はありますか。

(1) 母親 (いずれか1つに)

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が 21.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が 16.7%、「1年より先、一番下の子が()歳になったところに就労したい」の割合が 11.3%となっています。

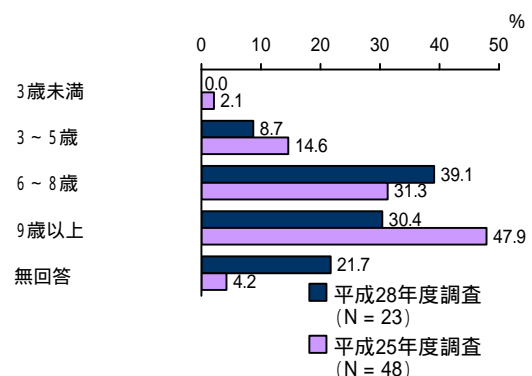
平成 25 年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が増加し、「1年より先、一番下の子が()歳になったところに就労したい」の割合が減少しています。



就労希望時の子どもの年齢

「6～8歳」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「9歳以上」の割合が 30.4%となっています。

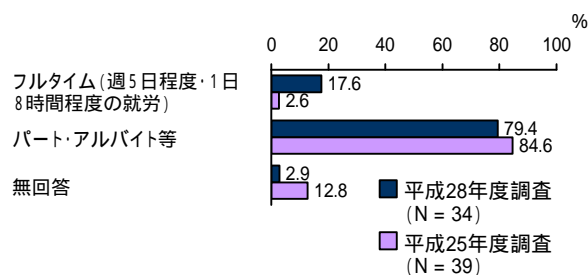
平成 25 年度調査と比較すると、「6～8歳」の割合が増加し、「3～5歳」「9歳以上」の割合が減少しています。



希望の就労形態

「パート・アルバイト等」の割合が79.4%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が17.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が増加し、「パート・アルバイト等」の割合が減少しています。

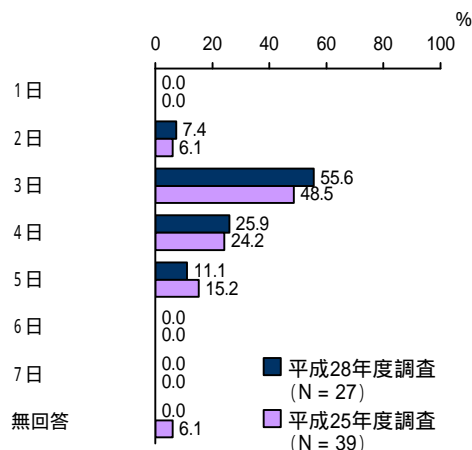


希望の就労日数

(「パート・アルバイト等」と回答した人)

「3日」の割合が55.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が25.9%、「5日」の割合が11.1%となっています。

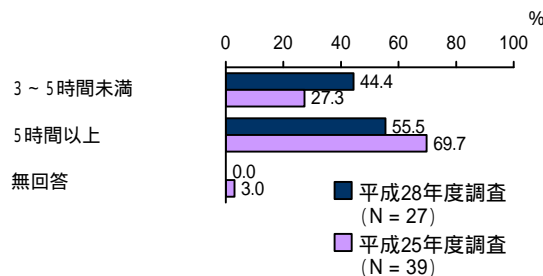
平成25年度調査と比較すると、「3日」の割合が増加しています。



希望の就労時間(「パート・アルバイト等」と回答した人)

「5時間以上」の割合が55.5%と最も高く、次いで「3～5時間未満」の割合が44.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「3～5時間未満」の割合が増加し、「5時間以上」の割合が減少しています。



(2) 父親(いずれか1つに)

「1年より先、一番下の子が()歳になったところに就労したい」が2件、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

就労希望時の子どもの年齢

「6～8歳」が2件となっています。

希望の就労形態

「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）」が1件となっています。

希望の就労日数

有効回答はありません。

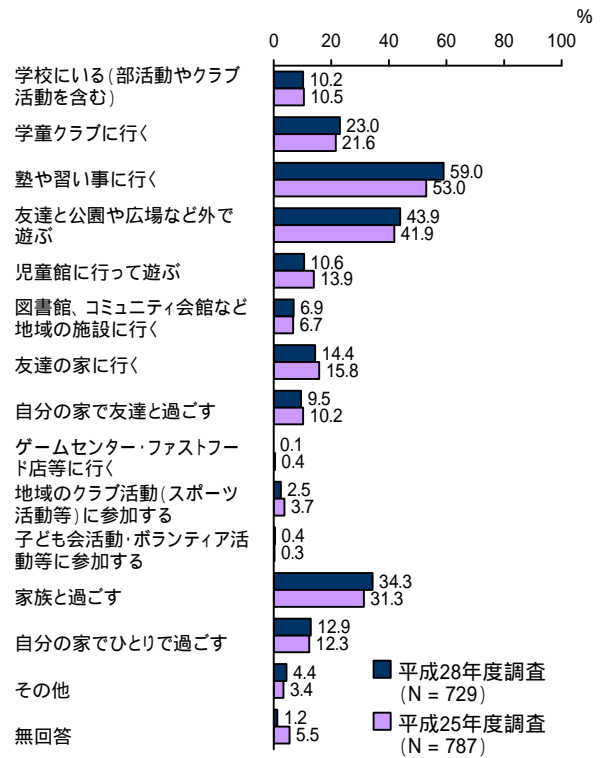
希望の就労時間

有効回答はありません。

問 12 対象のお子さんは、月曜日から金曜日の放課後、どのように過ごすことが多いですか
(最も多い過ごし方3つまでに)

「塾や習い事に行く」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「友達と公園や広場などで遊ぶ」の割合が 43.9%、「家族と過ごす」の割合が 34.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「塾や習い事に行く」の割合が増加しています。

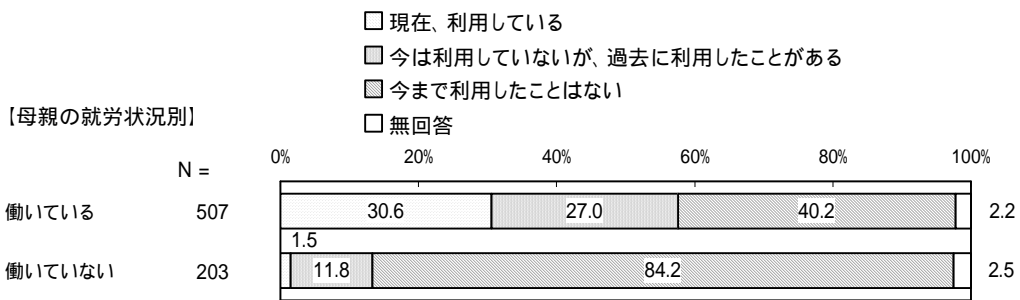
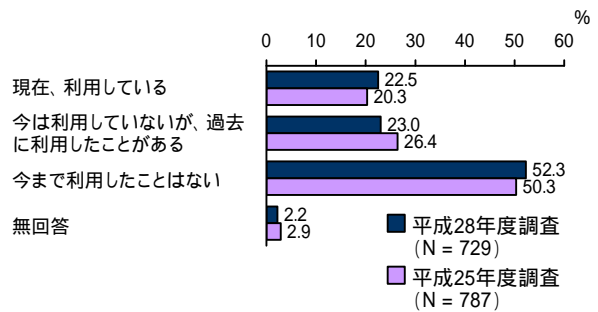


問 13 対象のお子さんは学童クラブを利用したことがありますか(1つに)

「今まで利用したことはない」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「今は利用していないが、過去に利用したことがある」の割合が 23.0%、「現在、利用している」の割合が 22.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

母親の就労状況別でみると、働いているで「現在、利用している」「今は利用していないが、過去に利用したことがある」の割合が、働いていないで「今まで利用したことはない」の割合が高くなっています。

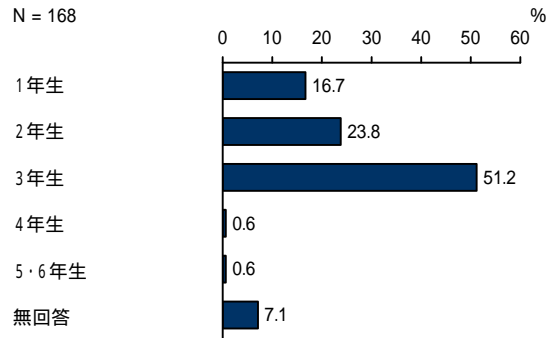


“働いている”人は、問6で「フルタイム」「パート・アルバイト等」と回答した人

“働いていない”人は、問6で「以前は働いていたが、現在は働いていない」「これまで働いたことはない」と回答した人

【何年生まで利用していたか】

「3年生」の割合が51.2%と最も高く、次いで「2年生」の割合が23.8%、「1年生」の割合が16.7%となっています。



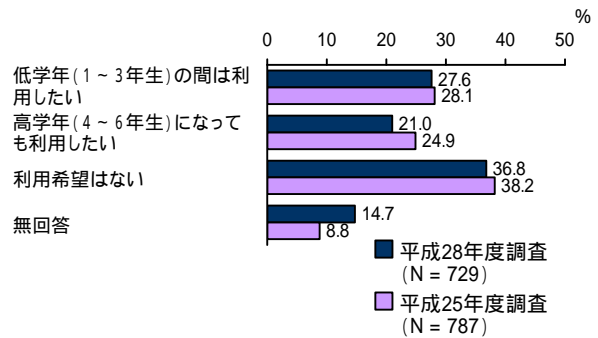
問 14 通常の学童クラブの ~ の利用について、(1)に利用希望をお答えください(~ それぞれ1つに)。利用希望がある場合は(2)に時間帯をご記入ください。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

平日

(1)利用希望

「利用希望はない」の割合が36.8%と最も高く、次いで「低学年(1~3年生)の間は利用したい」の割合が27.6%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」の割合が21.0%となっています。

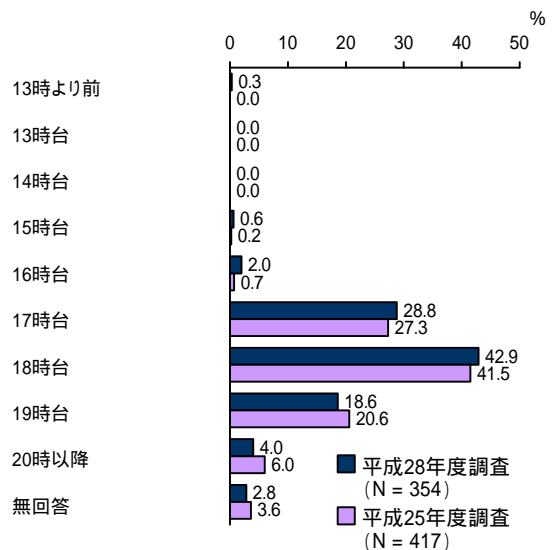
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2)希望利用終了時間

「18時台」の割合が42.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が28.8%、「19時台」の割合が18.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

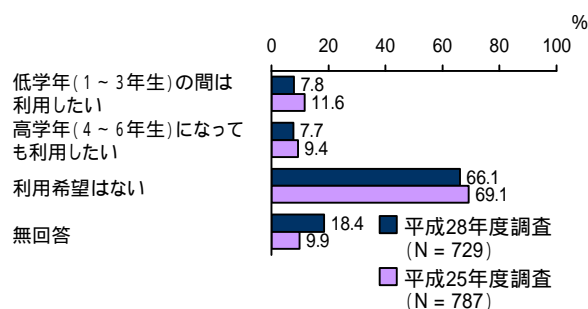


土曜日

(1) 利用希望 (1つに)

「利用希望はない」の割合が66.1%と最も高くなっています。

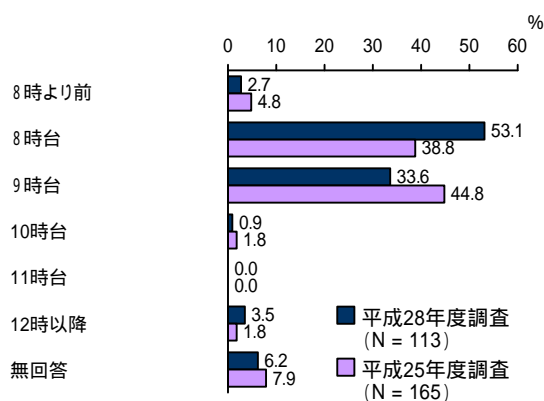
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 希望利用開始時間

「8時台」の割合が53.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が33.6%となっています。

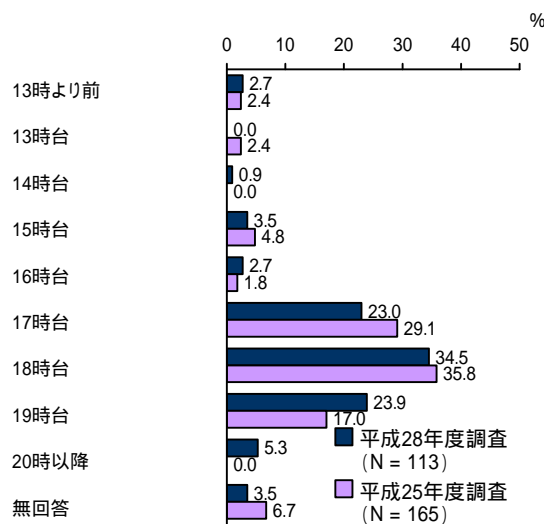
平成 25 年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加し、「9時台」の割合が減少しています。



(3) 希望利用終了時間

「18時台」の割合が34.5%と最も高く、次いで「19時台」の割合が23.9%、「17時台」の割合が23.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「19時台」「20時以降」の割合が増加し、「17時台」の割合が減少しています。

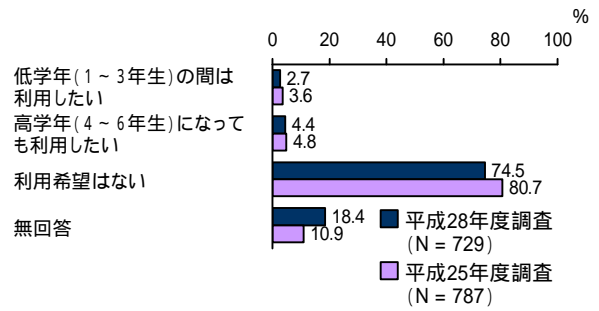


日曜・祝日

(1) 利用希望

「利用希望はない」の割合が74.5%と最も高くなっています。

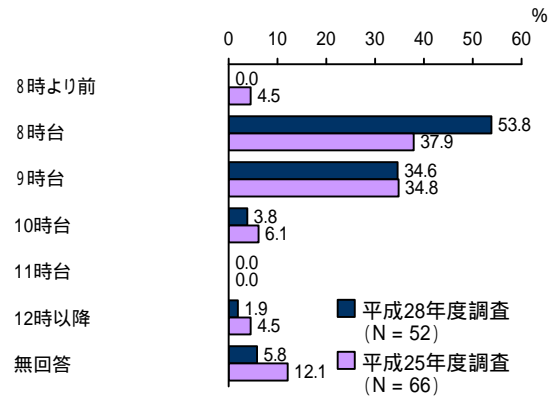
平成25年度調査と比較すると、「利用希望はない」の割合が減少しています。



(2) 希望利用開始時間

「8時台」の割合が53.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が34.6%となっています。

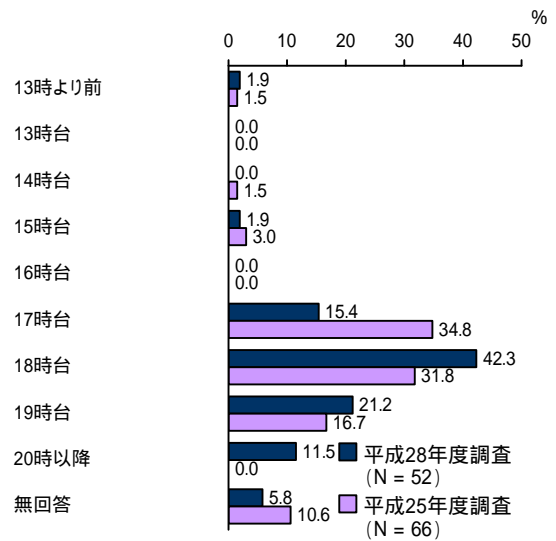
平成25年度調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。



(3) 希望利用終了時間

「18時台」の割合が42.3%と最も高く、次いで「19時台」の割合が21.2%、「17時台」の割合が15.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「18時台」「20時以降」の割合が増加し、「17時台」の割合が減少しています。

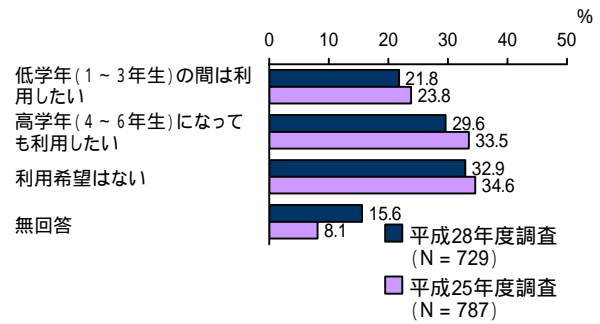


夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

(1) 利用希望

「利用希望はない」の割合が32.9%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が29.6%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が21.8%となっています。

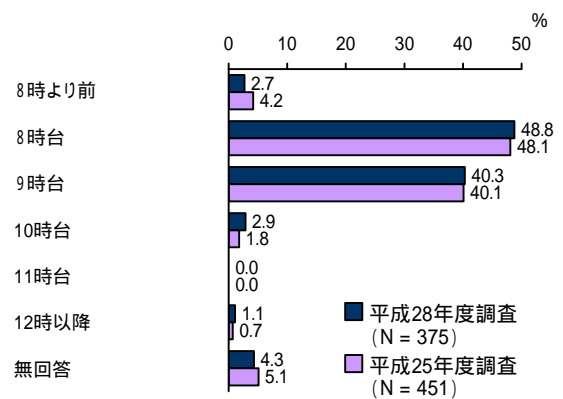
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 希望利用開始時間

「8時台」の割合が48.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が40.3%となっています。

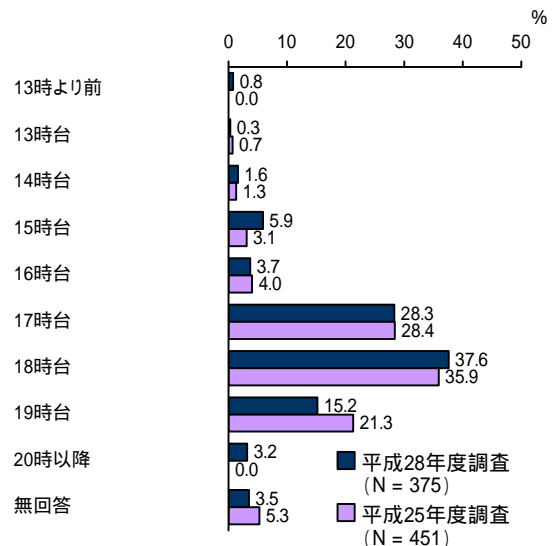
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) 希望利用終了時間

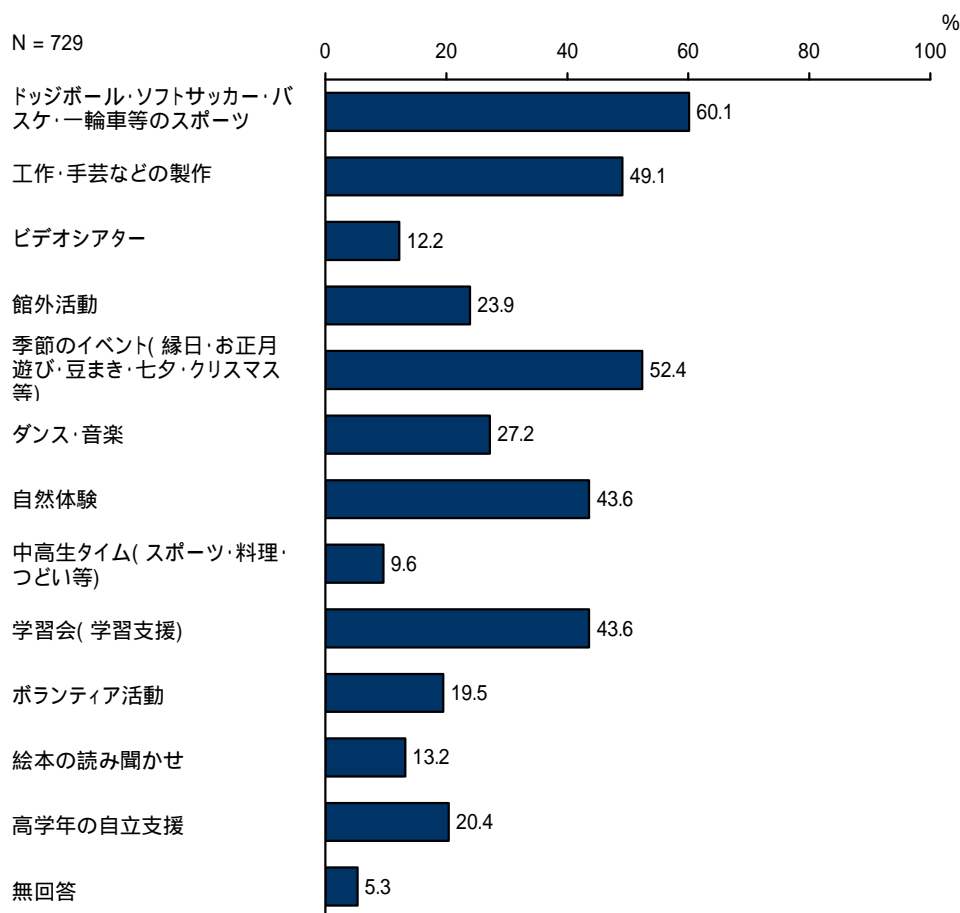
「18時台」の割合が37.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が28.3%、「19時台」の割合が15.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「19時台」の割合が減少しています。



問 15 墨田区では、在宅で子育て中の保護者及びお子さんへのサービスを一層充実していきたいと考えています。そのひとつである児童館についてお尋ねします。
児童館でお子さんに利用してほしい事業は何ですか（あてはまるものすべてに ）。

「ドッジボール・ソフトサッカー・バスケ・一輪車等のスポーツ」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「季節のイベント(縁日・お正月遊び・豆まき・七夕・クリスマス等)」の割合が 52.4%、「工作・手芸などの製作」の割合が 49.1%となっています。



問 16 お子さんが小学校に入学した時に心配なことは何でしたか。

(~ のそれぞれについて、1~4の1つに)

通学の安全、新しい生活にスムーズに移行できるか、子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯で「とても心配」と「まあ心配」をあわせた“心配”の割合が高く、7割を超えています。また、どのような習いごとをさせたらよいか、すみだファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるかで「あまり心配ではない」と「ぜんぜん心配ではない」をあわせた“心配ではない”の割合が高く、約7割となっています。

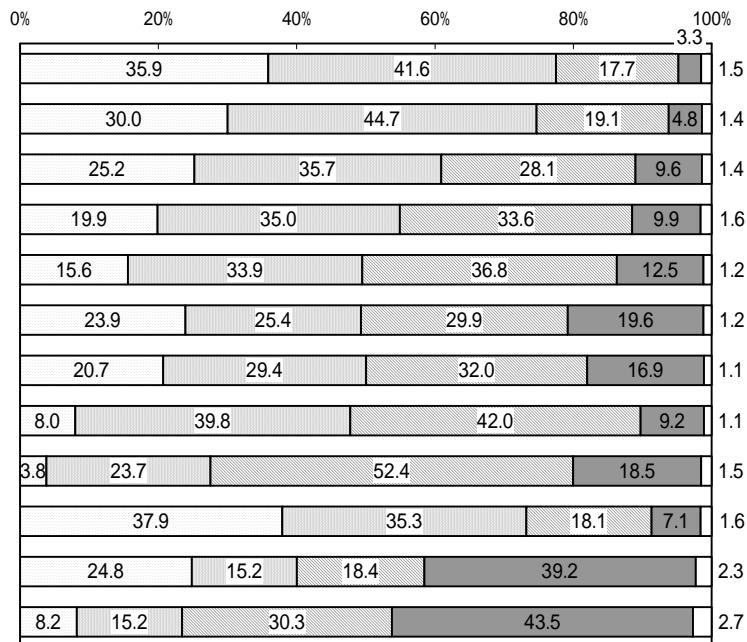
平成 25 年度調査と比較すると、授業についていけるかどうか、家庭内でどのような学習をさせたらよいかで“心配”の割合が増加しています。

□とても心配 □まあ心配 □あまり心配ではない
■ぜんぜん心配ではない □無回答

【平成28年度調査】

N = 729

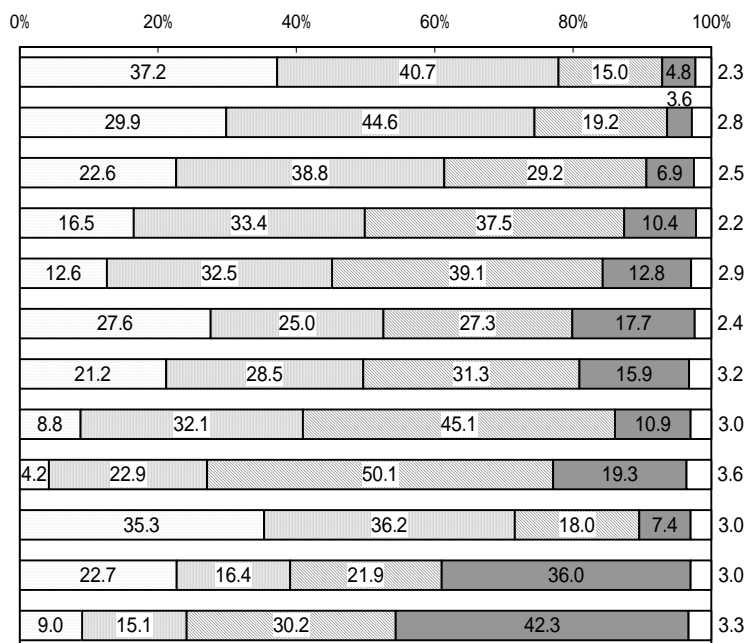
- 通学の安全
- 新しい生活にスムーズに移行できるか
- 小学校で友だちができるか
- 授業についていけるかどうか
- 小学校で身の回りのことが自分でできるか
- 子どもの夏休みなど長期休み中の居場所
- 子どもの放課後の居場所
- 家庭内でどのような学習をさせたらよいか
- どのような習いごとをさせたらよいか
- 子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯
- 学童クラブに入所できるか
- すみだファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるか



【平成25年度調査】

N = 787

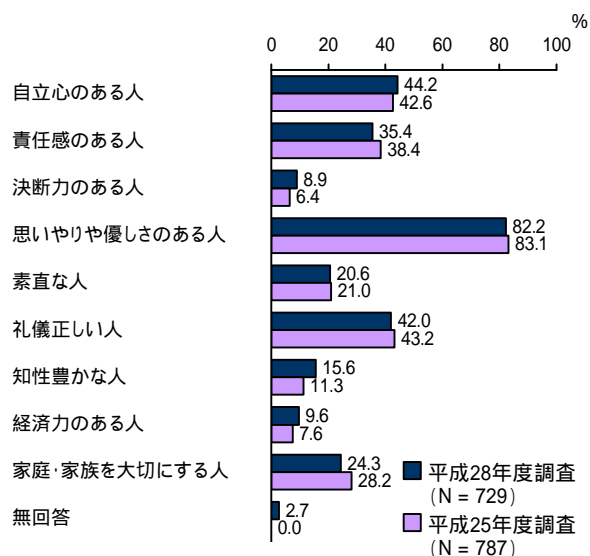
- 通学の安全
- 新しい生活にスムーズに移行できるか
- 小学校で友だちができるか
- 授業についていけるかどうか
- 小学校で身の回りのことが自分でできるか
- 子どもの夏休みなど長期休み中の居場所
- 子どもの放課後の居場所
- 家庭内でどのような学習をさせたらよいか
- どのような習いごとをさせたらよいか
- 子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯
- 学童クラブに入所できるか
- すみだファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるか



問 17 お子さんにどのような人になってほしいですか（3つまでに）

「思いやりや優しさのある人」の割合が82.2%と最も高く、次いで「自立心のある人」の割合が44.2%、「礼儀正しい人」の割合が42.0%となっています。

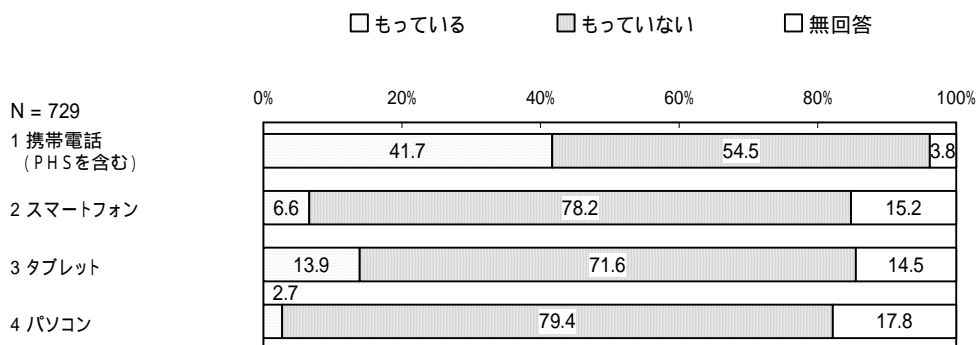
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 18 お子さんは子ども専用の携帯電話（PHSを含む）スマートフォン、タブレット、パソコンをもちますか（1~4のそれぞれについて1つに）。また、もっている場合はそれを自分専用として使いはじめたのはいつ頃からですか。それぞれにお答えください。

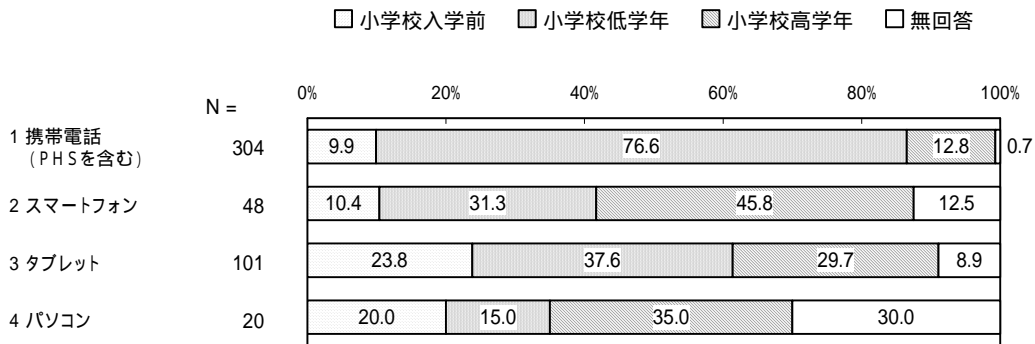
保有の状況

携帯電話（PHSを含む）で「もっている」の割合が高く、約4割となっています。他の項目については「もっていない」の割合が高く、7割以上となっています。



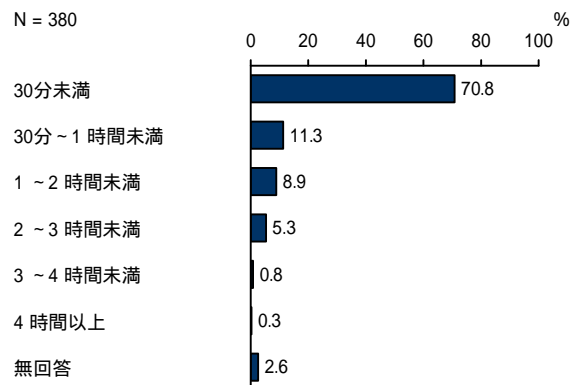
自分専用として使いはじめた時期

携帯電話（PHSを含む）で「小学校低学年」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、タブレット、パソコンで「小学校入学前」の割合が高く、約2割となっています。



問 19 1日にどれくらいの時間利用しますか（1つに ）

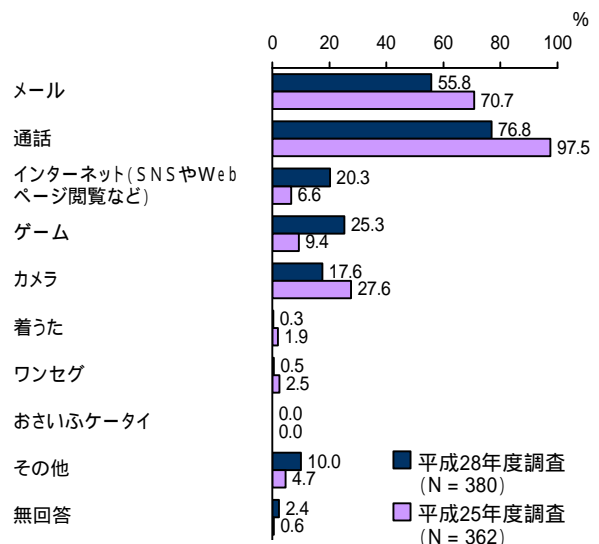
「30分未満」の割合が70.8%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」の割合が11.3%となっています。



問 20 どんな機能を使っていますか（あてはまるものすべてに ）

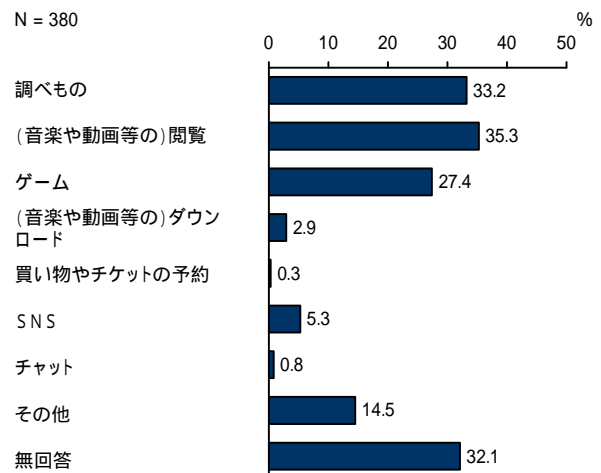
「通話」の割合が76.8%と最も高く、次いで「メール」の割合が55.8%、「ゲーム」の割合が25.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「インターネット（SNSやWebページ閲覧など）」、「ゲーム」の割合が増加し、「メール」「通話」「カメラ」の割合が減少しています。



問21 インターネットでどのようなことをしていますか（あてはまるものすべてに ）

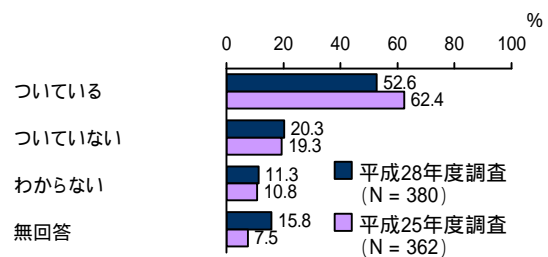
「（音楽や動画等の）閲覧」の割合が35.3%と最も高く、次いで「調べもの」の割合が33.2%、「ゲーム」の割合が27.4%となっています。



問22 携帯電話に、フィルタリングサービスまたは使いすぎ防止機能はついていますか（1つに ）

「ついている」の割合が52.6%と最も高く、次いで「ついていない」の割合が20.3%、「わからない」の割合が11.3%となっています。

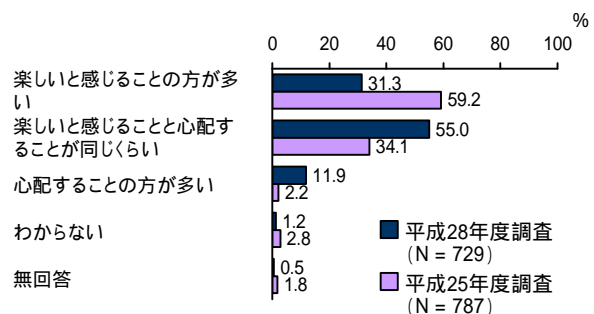
平成25年度調査と比較すると、「ついている」の割合が減少しています。



問23 子育てについてどのように感じていますか（1つに ）

「楽しいと感じることと心配することが同じくらい」の割合が55.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることの方が多い」の割合が31.3%、「心配することの方が多い」の割合が11.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「楽しいと感じることと心配することが同じくらい」「心配することの方が多い」の割合が増加し、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が減少しています。



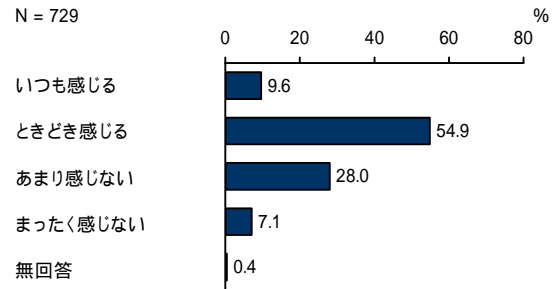
平成25年度調査では、「楽しいと感じることと心配することが同じくらい」は「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」、「心配することの方が多い」は「つらいと感じることの方が多い」

問 24 子育てに自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じたりすることはありますか
 (と のそれぞれについて1～4の1つに)

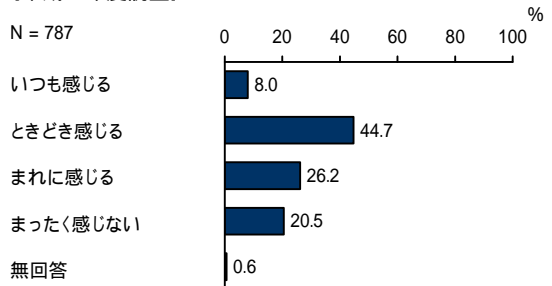
子育てに自信が持てないと感じることがある

「いつも感じる」と「ときどき感じる」をあわせた“感じる”の割合が64.5%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“感じない”の割合が35.1%となっています。

【平成28年度調査】
N = 729



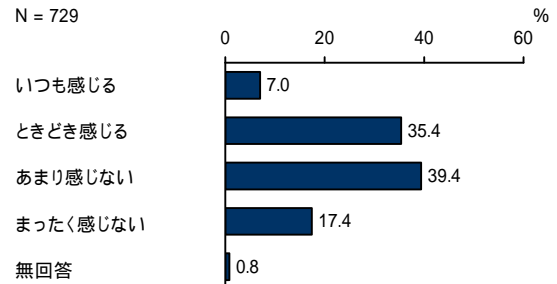
【平成25年度調査】
N = 787



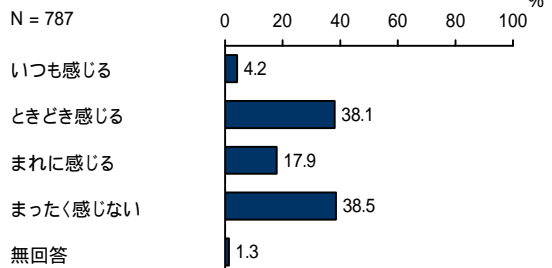
子育てに不安や孤独を感じることがある

“感じる”の割合が42.4%、“感じない”の割合が56.8%となっています。

【平成28年度調査】
N = 729



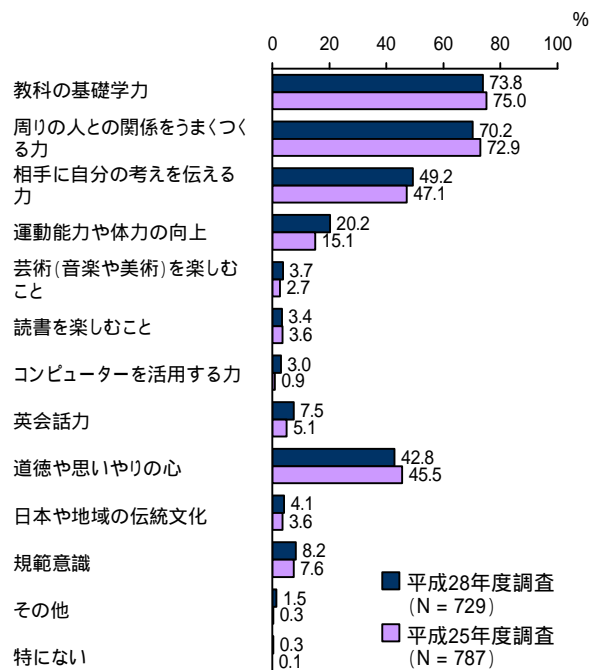
【平成25年度調査】



問 25 学校教育の場で身につけてほしいことは何ですか（3つまでに）

「教科の基礎学力」の割合が73.8%と最も高く、次いで「周りの人との関係をうまくつくる力」の割合が70.2%、「相手に自分の考えを伝える力」の割合が49.2%となっています。

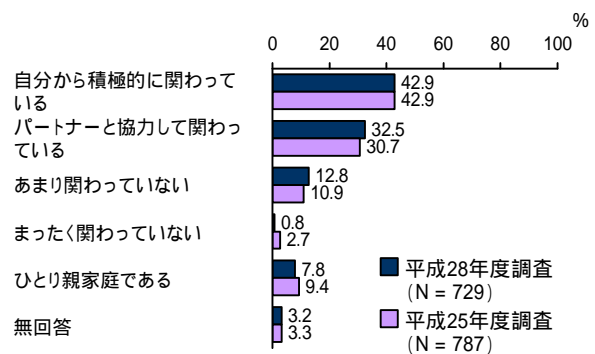
平成25年度調査と比較すると、「運動能力や体力の向上」の割合が増加しています。



問 26 対象のお子さんに父親としてどのように関わっていますか（1つに）
（回答者が対象のお子さんの母親のときは父親についてお答えください）

「自分から積極的に関わっている」の割合が42.9%と最も高く、次いで「パートナーと協力して関わっている」の割合が32.5%、「あまり関わっていない」の割合が12.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

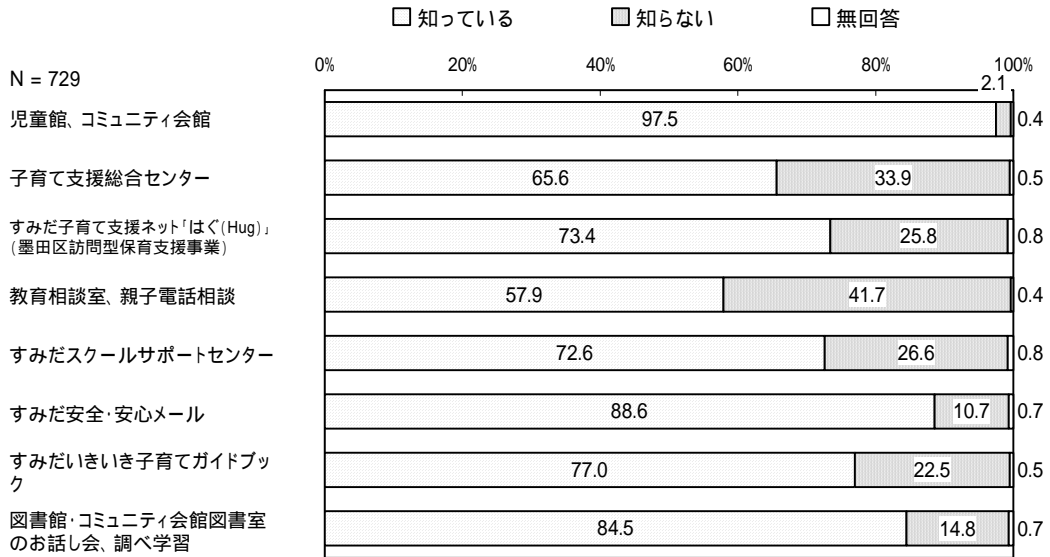


平成25年度調査では、「自分から積極的に関わっている」は「自分から積極的に参加している」、「パートナーと協力して関わっている」は「パートナーの指示を待って協力する」、「あまり関わっていない」は「あまり協力しない」、「まったく関わっていない」は「まったく協力しない」

問 27 墨田区で行っている次のサービス等について、(1)認知状況、(2)利用状況、利用したことがある方は(3)の満足度にお答えください。

(1) 認知度

児童館、コミュニティ会館で「知っている」の割合が高く、9割を超えています。一方、教育相談室、親子電話相談で「知っている」の割合が低く、約6割となっています。



「知っている」と回答した人

平成 25 年度調査と比較すると、すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)、すみだスクールサポートセンターの認知度が高くなっています。

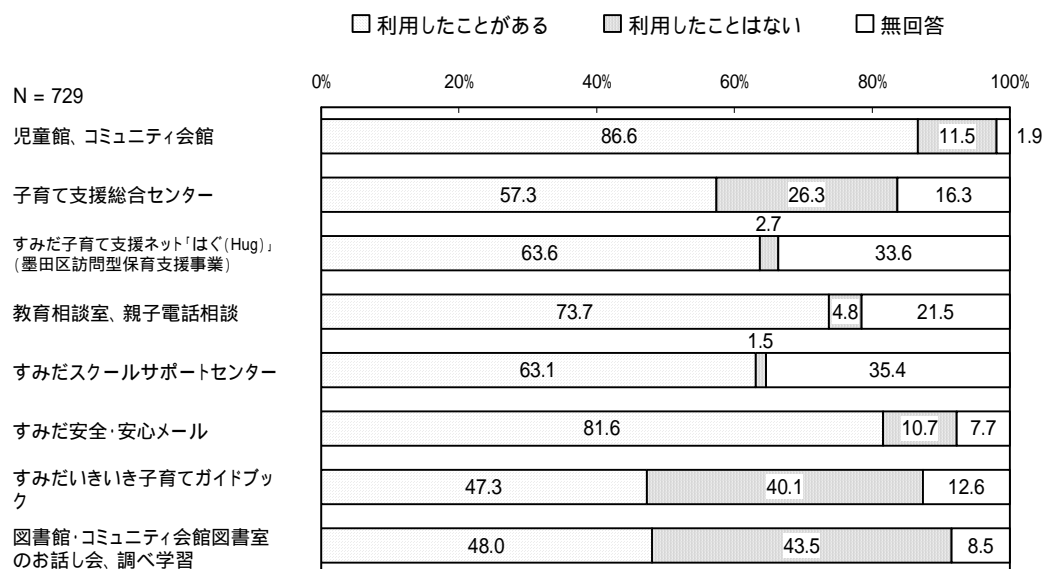
単位：%

	児童館、 コミュニティ会館	子育て支援総合センター	すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)	教育相談室、親子電話相談	すみだスクールサポートセンター	すみだ安全・安心メール	すみだいきいき子育てガイドブック	図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習
平成 28 年度調査	97.5	65.6	73.4	57.9	72.6	88.6	77.0	84.5
平成 25 年度調査	97.5	67.6	26.0	55.3	30.5	87.5	75.7	81.8

(2) 利用状況

児童館、コミュニティ会館、 すみだ安全・安心メールで「利用したことがある」の割合が高く、8割を超えています。

一方、 すみだいきいき子育てガイドブック、 図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習で「利用したことがある」の割合が低く、5割未満となっています。



「利用したことがある」と回答した人

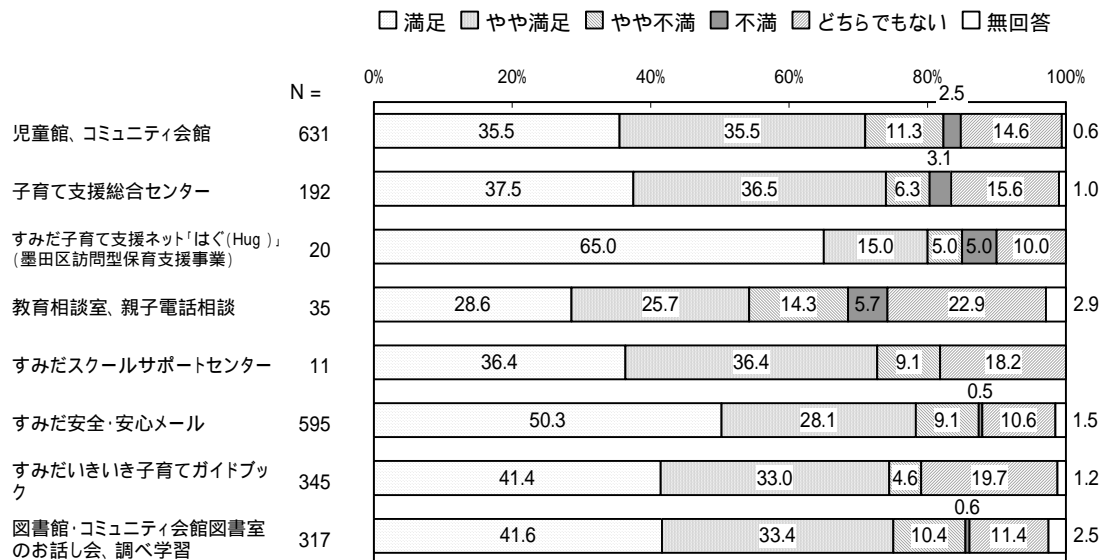
平成 25 年度調査と比較すると、 子育て支援総合センター、 すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)、 教育相談室、親子電話相談、 すみだスクールサポートセンターの認知度がとくに高くなっています。

単位：%

	児童館、コミュニティ会館	子育て支援総合センター	すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業)	教育相談室、親子電話相談	すみだスクールサポートセンター	すみだ安全・安心メール	すみだいきいき子育てガイドブック	図書館・コミュニティ会館図書室のお話し会、調べ学習
平成 28 年度調査	86.6	57.3	63.6	73.7	63.1	81.6	47.3	48.0
平成 25 年度調査	88.8	27.1	1.1	2.9	1.9	76.2	47.0	42.2

(3) 満足度

すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」(墨田区訪問型保育支援事業) すみだ安全・安心メールで「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、約8割となっています。一方、教育相談室、親子電話相談で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、2割となっています。



“満足”と回答した人

平成25年度調査と比較すると、すみだスクールサポートセンターの満足度が高くなっています。

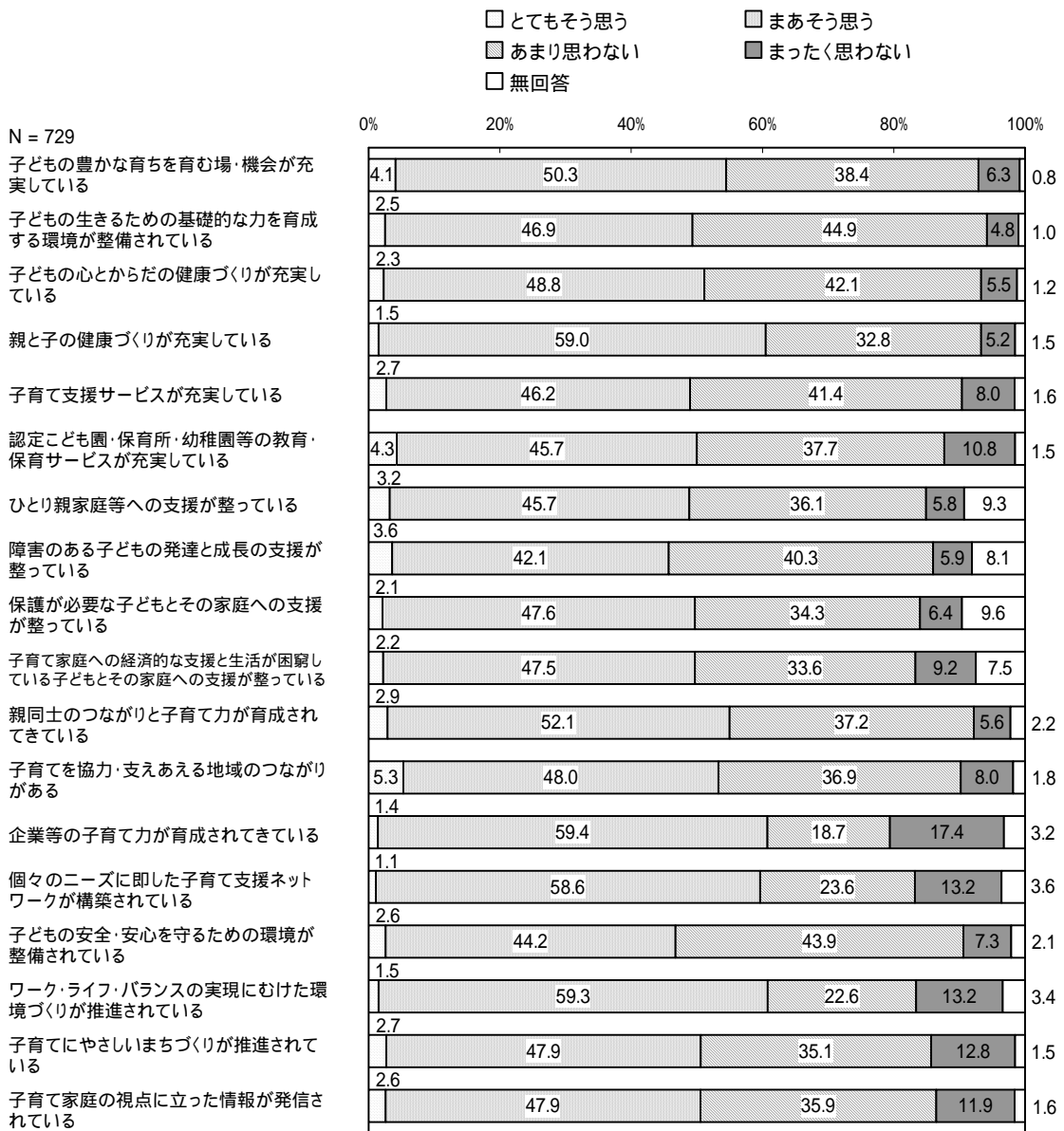
単位: %

	児童館、 コミュニティ会館	子育て支援総合センター	すみだ子育て支援ネット「はぐ(Hug)」 (墨田区訪問型保育支援事業)	教育相談室、 親子電話相談	すみだスクールサポートセンター	すみだ安全・安心メール	すみだいきいき子育てガイドブック	図書館・コミュニティ会館 図書室のお話し会、 調べ学習
平成28年度調査	71.0	74.0	80.0	54.3	72.8	78.4	74.4	75.0
平成25年度調査	72.7	76.1	100.0	69.6	46.6	84.0	79.7	78.3

問 28 小学生のお子さんを育てていく上で、墨田区のことをどのように感じていますか(~ のそれぞれについて1~4の1つに)

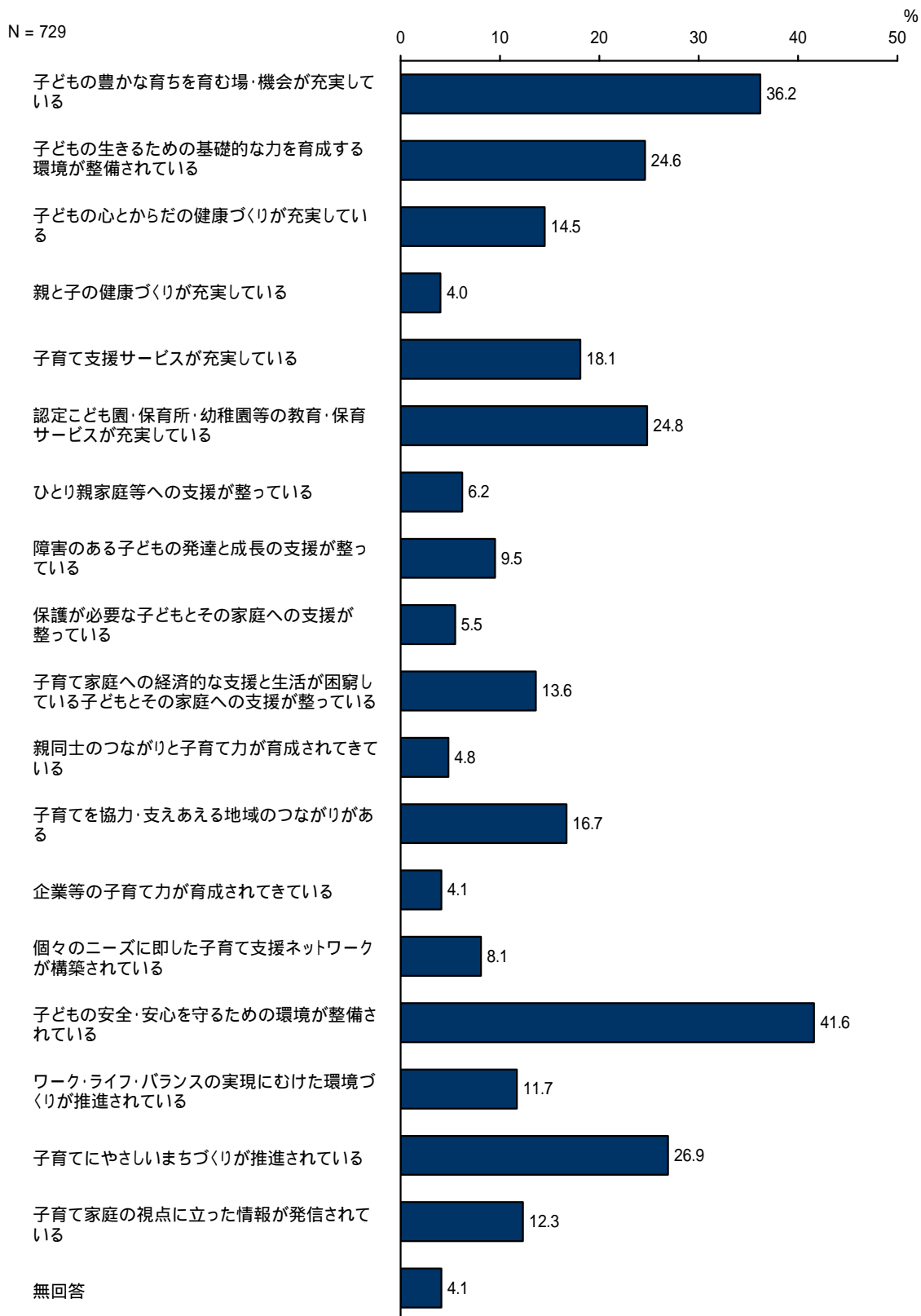
親と子の健康づくりが充実している、 企業等の子育て力が育成されてきている、 ワーク・ライフ・バランスの実現にむけた環境づくりが推進されているで「とてもそう思う」と「まあそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、6割を超えています。

一方、 子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境が整備されている、 子育て支援サービスが充実している、 ひとり親家庭等への支援が整っている、 障害のある子どもの発達と成長の支援が整っている、 保護が必要な子どもとその家庭への支援が整っている、 子育て家庭への経済的な支援と生活が困窮している子どもとその家庭への支援が整っている、 子どもの安全・安心を守るための環境が整備されているで“そう思う”の割合が低く、5割を下回っています。



問 29 前問 ~ の中で、墨田区がめざす環境として重要だと思う番号を下欄に3つご記入ください。

「子どもの安全・安心を守るための環境が整備されている」の割合が41.6%と最も高く、次いで「子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している」の割合が36.2%、「子育てにやさしいまちづくりが推進されている」の割合が26.9%となっています。

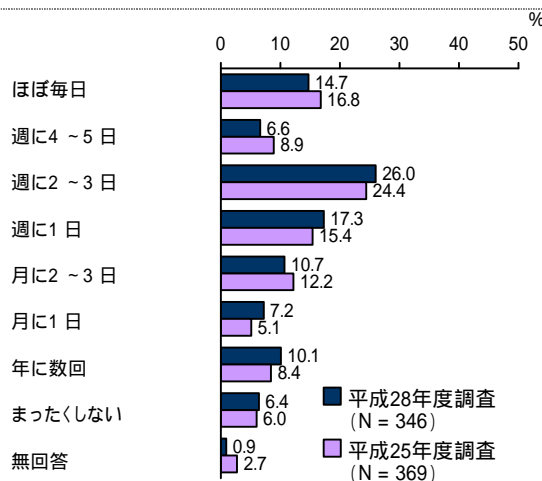


次の質問は小学4年生以上の方、ご本人がお答えください。

問30 そうじ、洗たく、食事のしたく、買物など家の用事をどのくらい手伝っていますか (1つに)

「週に2～3日」の割合が26.0%と最も高く、次いで「週に1日」の割合が17.3%、「ほぼ毎日」の割合が14.7%となっています。

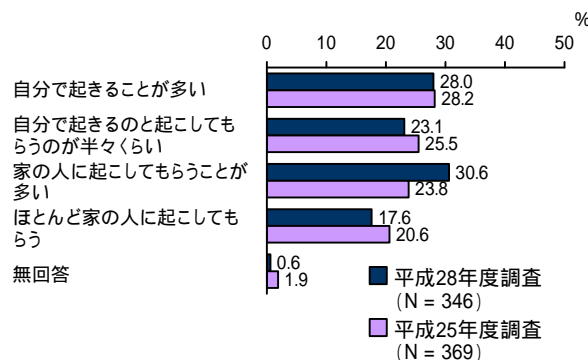
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問31 朝は起きられますか (1つに)

「家の人に起こしてもらふことが多い」の割合が30.6%と最も高く、次いで「自分で起きることが多い」の割合が28.0%、「自分で起きると起こしてもらふのが半々くらい」の割合が23.1%となっています。

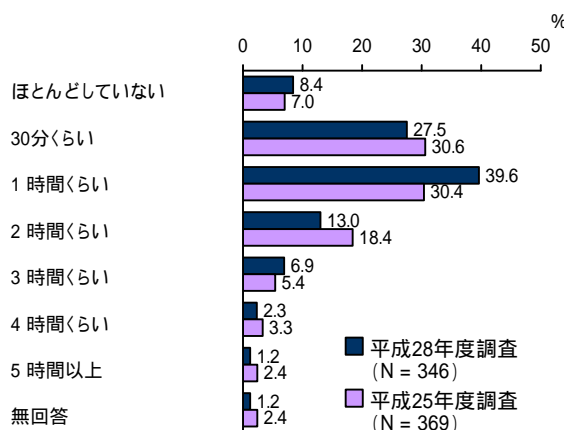
平成25年度調査と比較すると、「家の人に起こしてもらふことが多い」の割合が増加しています。



問32 ふだん、学校以外で1日何時間くらい勉強をしていますか (1つに)

「1時間くらい」の割合が39.6%と最も高く、次いで「30分くらい」の割合が27.5%、「2時間くらい」の割合が13.0%となっています。

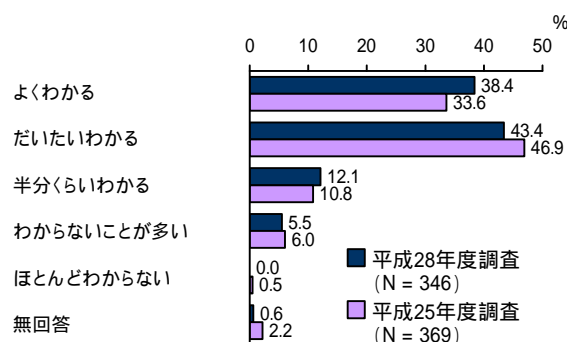
平成25年度調査と比較すると、「1時間くらい」の割合が増加し、「2時間くらい」の割合が減少しています。



問 33 学校の授業はよくわかりますか（1つに ）。

「だいたいわかる」の割合が43.4%と最も高く、次いで「よくわかる」の割合が38.4%、「半分くらいわかる」の割合が12.1%となっています。

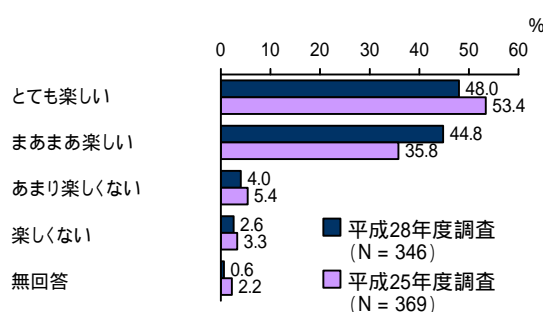
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 34 学校は楽しいですか（1つに ）。

「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」の割合が“楽しい”の割合が92.8%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」の割合が6.6%となっています。

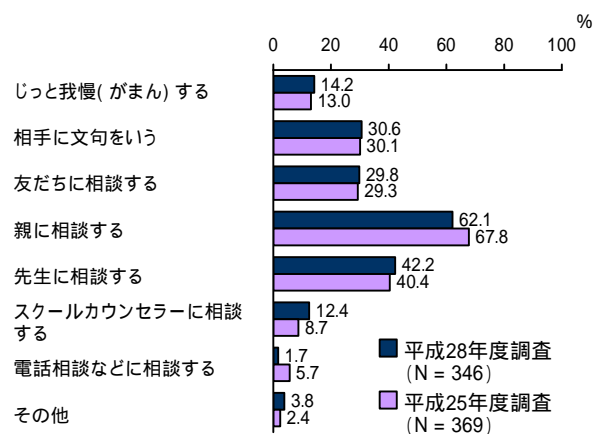
平成 25 年度調査と比較すると、「とても楽しい」の割合が減少し、「まあまあ楽しい」の割合が増加しています。



問 35 もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか（あてはまるものすべてに ）。

「親に相談する」の割合が62.1%と最も高く、次いで「先生に相談する」の割合が42.2%、「相手に文句をいう」の割合が30.6%となっています。

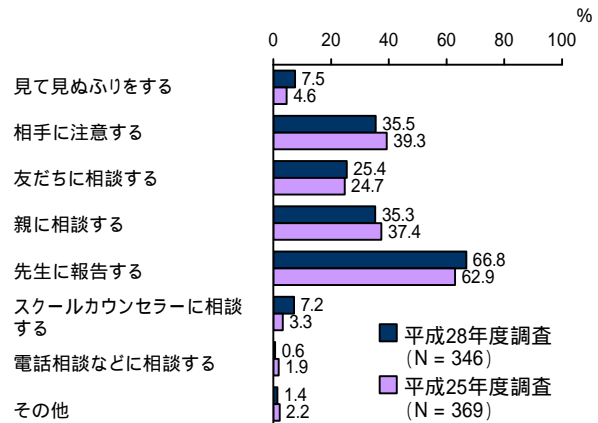
平成 25 年度調査と比較すると、「親に相談する」の割合が減少しています。



問 36 もし、あなたがいじめを目撃(もくげき)したらどうしますか
(あてはまるものすべてに)

「先生に報告する」の割合が 66.8%と最も高く、次いで「相手に注意する」の割合が 35.5%、「親に相談する」の割合が 35.3%となっています。

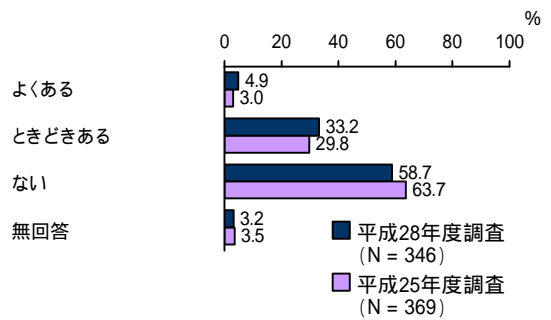
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 37 この1年の間に、病気やケガなどの理由以外で、学校に行きたくないと思っ
たことがありますか(1つに)

「ない」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が 33.2%となっています。

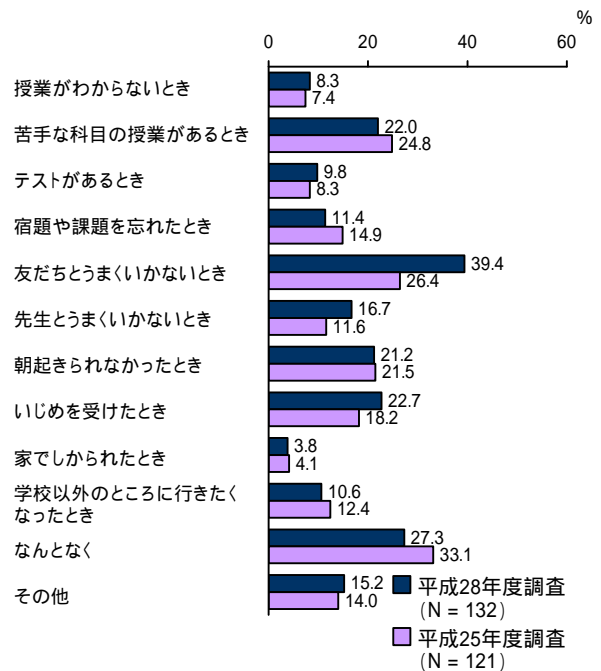
平成 25 年度調査と比較すると、「ない」の割合が減少しています。



問 38 学校に行きたくないと思うのはどのようなときですか(あてはまるものすべてに)

「友だちとうまくいかないとき」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「なんとなく」の割合が 27.3%、「いじめを受けたとき」の割合が 22.7%となっています。

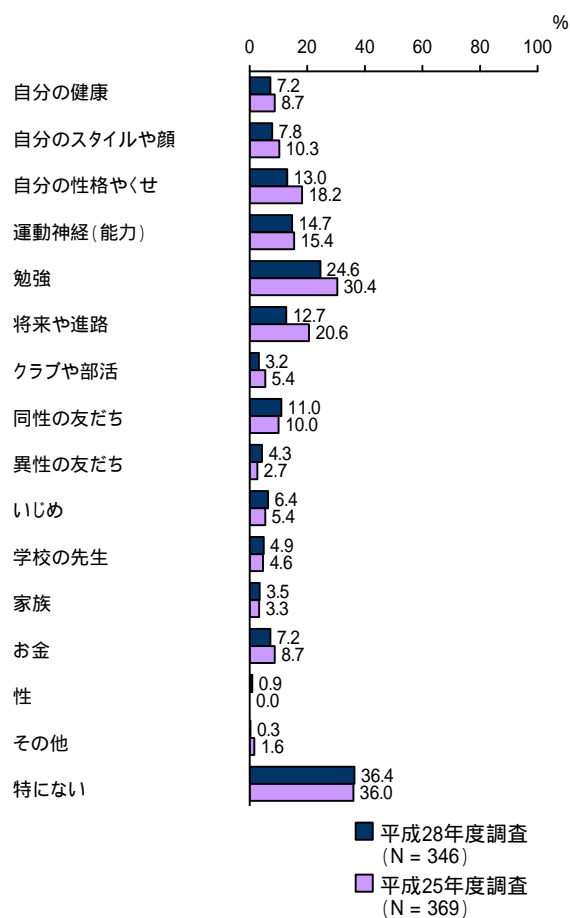
平成 25 年度調査と比較すると、「友だちとうまくいかないとき」「先生とうまくいかないとき」の割合が増加し、「なんとなく」の割合が減少しています。



問 39 なやみや心配なことがありますか（あてはまるものすべてに ）

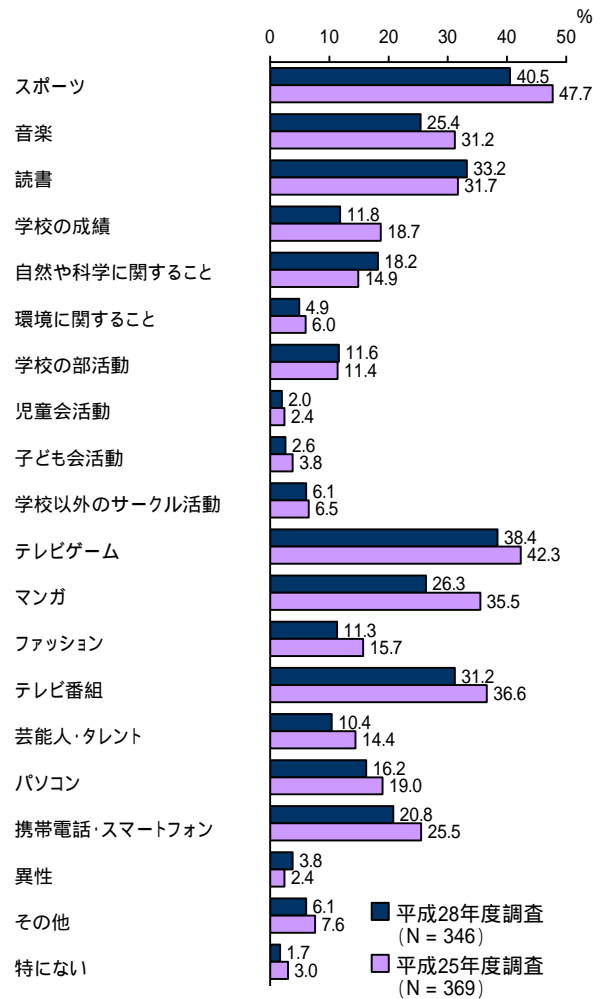
「特にない」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「勉強」の割合が 24.6%、「運動神経（能力）」の割合が 14.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「自分の性格やくせ」「勉強」「将来や進路」の割合が減少しています。



問 40 今、どのようなことに関心がありますか（あてはまるものすべてに ）

「スポーツ」の割合が40.5%と最も高く、次いで「テレビゲーム」の割合が38.4%、「読書」の割合が33.2%となっています。平成25年度調査と比較すると、「スポーツ」「音楽」「学校の成績」「マンガ」「テレビ番組」の割合が減少しています。



問 41 将来どんな仕事につきたいですか（あてはまるものすべてに ）

「自分の能力に合った仕事」の割合が52.9%と最も高く、次いで「社会に役立つ仕事」の割合が29.5%、「収入が多い仕事」の割合が25.1%、「収入が多い仕事」の割合が25.1%となっています。平成25年度調査と比較すると、「収入が多い仕事」「倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事」の割合が減少しています。

